令和４年度事業計画に基づく事業報告

伊賀市シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者の多様な就業ニーズに応じ、「高齢者福祉の増進」や「地域社会への寄与」等の公益性の高い事業を展開し、豊かで活力ある地域社会の実現、高齢者の就業、自らの生きがいとやりがいの充実、健康増進とともに、活力ある地域社会への貢献を目指して事業を進めてまいりました。

令和４年度は、長引いた新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、我が国の経済は、国内では、コロナ禍からの回復が見込まれるほか、世界的にはインフレが進んでおります。そのような中、ロシアによるウクライナ侵攻により、原油や天然ガスなどエネルギー価格や穀物などの原材料の高騰や物価の上昇などの影響が懸念され、雇用に対する今後の先行きは不透明な状況にあります。特に、労働力調査では、少子高齢化による労働力人口の減少傾向がみられており、引き続き積極的な高齢者の労働参加を促す政策が強く求められています。

このような中、令和４年度の当センターの事業実績は、請負事業及び派遣事業は、順調に回復し、前年度を上回る契約実績となっており、受託事業で、386,271 千円の契約額となり対前年度比 102.2%、派遣事業では契約額が 77,282 千円で対前年度比 109.8%となり、総契約額は 463,553 千円、対前年度比 103.4%となりましたが、中期計画の目標額である 492,700 千円に達することはできませんでした。また就業率は、88.9%で対前年度比 2.4%増となっておりますが、分母となる会員数が減少したことも関係しており、手放しでは喜べません。

令和４年度は、昨年度に引き続き「会員を増やすことが当センターの喫緊の最重要課題と認識」し、新たに「シルバーポイント制度」や「フレンドリーショップ制度」について、鋭意取り組んできたほか、会員証も更新を行い、伊賀市シルバー人材センターを少しでも魅力あるものとすることにより、新規会員の獲得や、会員の退会抑制に繋げようと努力をしてきたところです。

また、女性の会主催で、一般市民の参加募集を行い「春・秋・お正月の寄せ植え教室」や「ポーセラーツ教室」を開催し、女性会員の獲得や一般市民へのシルバー人材センターのＰＲを行うなど、あらゆる機会を通じて会員確保に努めてきました。さらには「スマートフォン教室」もカメラ、マップ、アプリの３回シリーズで会員向けに開催し、会員の ICT リテラシー（デジタル技術を理解し活用する能力）の向上に努めました。

当シルバーの会員数は、700 名で入会者が 71 名に対して退会者が 111 名で前年度から 40 名の減少です。会員の平均年齢は 75.2 歳となっており、71 名の入会者のうち 60 歳代が 29 名です。また、ハローワークでの就業相談は、31 名の方が来られ、そのうち入会説明会を受け会員になられた方は 13 名です。

草引きや、草刈りなどの分野では、新規会員の獲得が難しく、平均年齢の上昇により、体力的な面から新たな契約を増やし事業拡大を行っていくことが、

難しくなってきているという状況にあります。このため過去に引き受けた仕事は継続して引き受けが可能ですが、新規で依頼のある仕事については、已むを得ず、お断りをしなくてはならないという状況が発生しています。

安全・適正就業では、「安全は全てに優先する」を合言葉に、令和４年度は、「事故ゼロ」を目指して、安全就業に重点的に取り組み、刈払い機取扱い講習会、チェンソー取扱い講習会を開催し、就業するためには受講が必須ということで受講を徹底したほか、パッカー車運転取扱い講習会やダンプ運転講習会も開催しました。また、ヒヤリハットの提出を奨励したほか、作業中の保護具着用や安全ワッペンの着用も義務付け、安全就業に取り組んできました。また、燃料等を入れる携行缶は鋼製のものを使用することを徹底したほか、就業中の怪我等に対応するための薬箱の薬品等も更新しました。これら対策の結果、事故発生件数は、前年度は１７件ありましたが、令和４年度は１１件と減少しました。なお、三シ連の開催する安全パトロールにも参加し、他市の安全対策の状況も参考にさせてもらいましたが、伊賀市シルバー人材センターは、安全対策面において、他市と比較して遜色がないことが確認できました。

財務対策ですが、シルバー人材センターの財政は、運営費補助金の交付を受け毎年度の財政は、収支相償が会計原則で余剰金はない状態ですが、インボイス制度（適格請求書等保存方式）が令和５年１０月から導入され、消費税の新たな税負担が発生することが判明してまいりました。このことは、当センターにとっては運営上の死活問題となるとし、全国のシルバー人材センターと歩調を合わせて、伊賀市議会に「シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援を求める請願書」を提出し、賛成多数で採択され、意見書が内閣総理大臣、財務大臣等に提出されたところです。しかしながら、国においては、我々の「特例扱い」の主張は認められず、予定通りインボイス制度が、令和５年１０月から始まる状況にあります。こういったことに対応するため、当シルバー人材センターは、財務体質を強化することに取り組み、令和４年度から事務費率を毎年１％ずつ引き上げさせて頂くことを各方面にお願いし、理解を得たほか、インボイス制度（適格請求書等保存方式）対応積立金を創設いたしております。

高齢化社会にあって今日までの実績は、会員及び関係機関並びに各事業所をはじめ、地域の方々の深いご理解・ご支援によるものであります。

以下、本年度事業として推進しました主要事項について報告いたします。

◎基本方針

① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
② 会員の加入促進と普及啓発活動
③ 安全・適正就業の推進
④ 就業機会の開拓推進
⑤ 技能支援と各種講習の推進
⑥ 福祉家事援助サービス事業の推進

⑦　地域高齢者サポート事業の推進
⑧　奉仕活動（ボランティア）の推進
⑨　健康福祉活動の推進
⑩　独自事業の推進
⑪　特定公益増進法人制度の推進
⑫　理事会の開催
⑬　役職員の視察研修
⑭　財務対策強化への対応

１．組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努める。

①　専門部会の充実と各委員会活動の活動強化

・総務組織部会（6 回）開催

4/26・・・事業報告（案）及び収支計算書（案）、定時総会全般、表彰審査等

7/20・・・事業計画所掌事項、インボイス制度の請願、市長、議長要望、役職員人権研修会等

8/26・・・職員の給与支給規程の一部改正、役職員人権研修、最低賃金及びインボイスへの対応、役職員先進地視察、労働局・三重県・三シ連の事業指導等

12/2・・・上半期監査結果報告、職員の給与支給規程の一部改正、嘱託職員等の取扱いに関する要綱の一部改正、インボイス制度等

2/16・・・臨時事務局長会議の内容、特定費用準備資金等取扱規程、定時総会等

3/10・・・令和４年度事業報告、令和５年度事業計画、職員就業規則の一部改正、再任用嘱託職員の取扱いに関する規程、インボイス制度対応積立金設置規程、嘱託職員の取扱いに関する要綱の一部改正等

・事業・普及部会（5 回）開催　　憩いのやかた運営委員会（１回）開催

7/19・・・事業計画所掌事項、事業計画、高齢者活躍人材確保育成事業等

8/17・・・憩いのやかた運営委員会（事業計画、事業の中止等）

9/2・・・高齢者活躍人材確保育成事業、三重県シルバーの日、就業拡大等

12/1・・・剪定講習会、就業拡大等

2/17・・・事業報告、剪定講習会、フレンドリーショップ制度等

3/16・・・令和 4 年度事業報告、令和 5 年度事業計画等

・安全適正就業推進部会（5 回）、就業適正化委員会(4 回)、安全委員会（3 回）開催

6/30・・・事業計画所掌事項、事故発生概要、安全就業のための実施計画の策定、安全・適正就業強化月間の取組、安全標語の募集等

8/29・・・事故発生概要報告、安全適正就業パトロール結果、安全講習会等

11/28・・・事故発生概要報告、安全講習会等

2/20・・・事故発生概要報告、安全就業に係る実施計画書等

3/15・・・令和４年度事業報告、令和５年度事業計画等

3/29・・・安全就業に係る実施計画書、災害ゼロへの取組（KYT）等

・福祉・家事援助サービス部会（4 回）、福祉・家事援助推進委員会（1 回）開催

7/20・・・事業計画所掌事項、ボランティア事業等

12/5・・・寄植教室（秋、お正月）、スマホ教室、ポーセラーツ教室、福祉・家事援助サービス月間等

2/14・・・３放課後児童クラブ合同　川上ダム見学会打合せ、お正月寄植教室、スマホ教室、ポーセラーツ教室の結果等

3/14・・・春の寄植教室の結果、令和４年度事業報告、令和５年度事業計画等

②　班組織（地域班、職群班）の充実と班機能の確立

（地域班長会議）

・５９班（9/2、1/31）

（職群班長会議）

・草刈班長会議（2 回）開催

4/14　安全就業に係る実施計画書、ヒヤリハットの推進、パッカー車の運用、刈払機取扱者講習会、チェンソー取扱講習会等

1/13　事故報告、問題点等、次年度の運用等

・剪定班長会議（3 回）開催

4/6　パッカー車の運用、刈払機取扱者講習会、チェンソー取扱講習会、ヒヤリハットの推進等

1/6　剪定講習会、受注の状況、事故の状況・ヒヤリハット等

2/16　剪定講習会事前打合せ等

・駐車場管理班長会議

3/22　業務等

・清掃班長会議

3/28　業務等

・児童クラブ・家事援助班長会議

3/23　業務等

・事業所班長会議

3/28　業務等

③ 地域ブロック会議の充実（地域就業活動の促進と会員間の連携強化）

２．会員の加入促進と普及啓発活動

センター事業の進展のため、入会促進と普及啓発活動を実施。

① 入会への定期説明会開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、説明時間短縮のためDVD上映を中止し、資料のみによる説明会とした。

・年間21回開催　　94名参加（昨年より9名減）

３月末・・・会員数　　700名（昨年より40名減）

入会者計　　71名（昨年より22名減）

退会者計　111名（昨年より13名減）

・入会者のうち会員紹介による入会　15名

・会員の推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
861名	813名	794名	771名	740名	700名

② 会報「シルバー伊賀」年2回発行（8月、1月）

・広報編集委員会・・７回開催（7/4, 7/29, 8/9, 10/27, 11/30, 12/20, 1/16）

③ 伊賀市長・市議会議長要望

（8/8 市長及び市議会議長）

④ 市広報による入会説明会及び就業相談会の開催日周知

⑤ 会員による普及啓発パンフの配布（中止）

⑥ 全シ協、三シ連との連携協調による広報パンフ、リーフレットの配布（中止）

⑦ 地域での普及啓発活動

・イベントの中止：青山夏まつり

・イベントへの不参加：市民夏のにぎわいフェスタ2022

⑧　会員拡大プロジェクト会議　３回開催

第18回　4/27,　第19回　7/15,　第20回　10/25

⑨ 「シルバーポイント制度」「フレンドリーショップ制度」開始　10/1

⑩ 「フレンドリーショップ」キックオフ大会　2/7開催

⑪ 会員証の更新　2/15開始

⑫ 女性の会

第11回　9/8開催　第12回　10/17開催　第13回　3/14開催

⑬ 女性の会主催　寄せ植え教室「秋の花を楽しもう」開催

9/21　23名参加　（会員外11名、会員12名）

⑭ 女性の会主催　「お正月用寄せ植え教室」開催

12/13　28名参加（会員外17名、会員11名）

⑮ 女性の会主催　「春の寄せ植え教室」開催

3/2　24名参加（会員外15名、会員9名）

⑯ 女性の会主催　「ポーセラーツ教室」

2/6　22名参加　（会員外12名、会員10名）

⑰ 剪定講習会を三重県立伊賀白鳳高校で実施
2/18　11 名参加（会員外 8 名、会員 3 名）
⑱ 地域班長による会員募集中パンフレットの配布（会報配布時 1 回）
⑲ ケーブルテレビによるイベント取材と放送による啓発
⑳ 職員による会員拡大プロジェクトチームで検討
㉑ 伊賀鉄道の車内吊り下げ広告作成、掲示
㉒ ハローワークでの就業相談

３．安全・適正就業の推進

シルバー事業で何よりも優先する安全対策に向けた取り組みを進めるとともに、受託と派遣の事業点検を行い適正就業に取り組みました。

① 安全就業現場パトロール実施（8 回）草刈・剪定・公園清掃・農業法人等
7/20．7/27．8/3．8/17．8/24．8/31．9/7．9/14

② 事故発生件数 11 件（物損事故６件・傷害事故５件）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
17 件	18 件	20 件	18 件	17 件	11 件

③ 安全標語の募集（37 点応募）
最優秀作品「確認を　惜しむな　省くな　手を抜くな」

④ 適正就業関係
・ 安全就業推進大会（三シ連）・津市　(7/14)
・ 安全・適正就業パトロール（三シ連）・・・津市（9/7）、亀山市(9/13)

⑤ 安全講習会
12/4　大山田どんぐりホール　53 名参加
安全標語表彰、安全就業講話、講演：野外作業の安全管理

⑥ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応指針を作成
全会員、職員に配布（８月）

４．就業機会の開拓推進

会員に適した就業の場を提供するため、会員のご協力を得ながら就業機会の確保及び新規開拓に努めました。

① 就業実績（R5.3.31 現在）
総受託件数・・・5,277 件
［公共 1,069 件、民間 1,834 件、一般・家庭 2,374 件］
対前年度・・・・　67 件増
［公共 27 増、民間 22 増、一般・家庭 18 増］
総契約額・・・・386,271 千円（対前年度比 102.2%）
総就業延日人員 71,273 人(対前年度 127 名増)
実就労人員 622 名（対前年度 18 名減）
就業率＝就業人員 622／会員数 700・・・88.9％（対前年度比 2.4%増）

男性就業率 85.7%（就業実人員 401/会員数 468）
女性就業率 95.3%（就業実人員 221/会員数 232）
伊賀市事務所派遣事業総収入・・・・77,282 千円(対前年度比 109.8%)
総事業費（派遣事業含む）・・・463,553 千円（前年度 448,511 千円）
対前年度比 103.4%

② 事業所訪問・・・中止

③ 空き家維持管理サービス事業者としての空き家管理・・・延 101 件
墓地掃除花立・・・ 延 72 件
ふるさと納税返礼品としての空き家管理・・・・・ 0 件
墓地清掃花立・・・・延 10 件

受注件数・就業延人員・契約金額の推移 （単位：件、人、円）

	受託件数	就業延日人員	契約金額	派遣契約	総契約額
平成 29 年度	5,901	84,266	416,428,959	91,958,624	508,387,583
平成 30 年度	5,752	75,797	377,575,742	107,622,364	485,198,106
令和元年度	5,537	74,081	377,772,813	99,927,605	477,700,418
令和 2 年度	5,272	69,542	361,158,558	80,851,672	442,010,230
令和 3 年度	5,210	71,146	378,112,988	70,397,748	448,510,736
令和 4 年度	5,277	71,273	386,270,597	77,282,317	463,552,914

５．技能支援と各種講習の推進

高齢者の就業に必要な知識や技能習得のため事業としての技能講習会を開催する。

① 高齢者活躍人材確保育成事業
公園施設のおしごと体験（10/14） 7 名参加 上野公園

６．福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加の中、福祉家事援助等の生活支援や社会参加型活動を行いました。

① 地域イベントへの参加
青山夏祭り・・・中止
市民夏のにぎわいフェスタ 2022・・・参加中止

７．地域高齢者サポート事業の推進

それぞれの地域の高齢者が日常生活で困っておられる短時間でできる簡易なことをその地域の元気なシルバー会員が安価で支援（受注）する地域高齢者サポ

ート事業（生活支援）について、進めました。

地域高齢者サポート事業（生活支援）

（支援実施）西高倉きずな会・阿山サポート会・小田サポート会

８．奉仕活動（ボランティア）の推進

会員間の連携を深め、シルバー事業のモットーである「すすめよう」「さしのべよう」「まもろう」「つたえよう」を就業だけでなく、地域での奉仕活動においても実施いたしました。

いがスマイル彩ボランティア活動・・・2 件、11 人

・いきいきサロン佐那具老人クラブ　　5 人

・小杉ニコニコ教室演芸ボランティア　　6 人

伊賀上野ＮＩＮＪＡフェスタ 2022 ボランティア・・・中止

にぎわいフェスタ翌日清掃・・・参加中止

近鉄大阪線青山駅前広場草刈り、落葉清掃、植木剪定作業　12/3　10 名

３放課後児童クラブ合同　川上ダム見学会　　3/29　72 名

９．健康福祉活動の推進

会報３５号健康診断受診推進を掲載等、会員が健康管理に留意いただくため、周知しました。

１０．独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めた。

１１．特定公益増進法人制度の推進

各事業所等にシルバー人材センター事業や特定公益増進法人制度の理解を深めるとともに、寄付行為についても周知を図り、15 事業所から 160,000 円の協力を得て当センター業務の充実に努めました。

１２．理事会の開催

主要協議案件、その他事項について、６回の理事会を開催：所掌事項等下記の取組み事項と諸事業を推進

5/10・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要報告、各部会取組
（第１回）状況の報告、令和３年度事業報告、令和３年度収支決算及び決算監査結果報告、令和３年度収支補正予算、令和４年度事業計画及び収支予算、定時総会被表彰者、定時総会の開催要領

7/25・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報
（第２回）告、各部会取組状況の報告、インボイス制度、安全就業に係る実施計画書、事業・普及部会実施事業計画書、市長・議長要望、フレンドリーショップ制度、高齢者活躍人材確保育成事業

9/12・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報
（第３回）告、各部会取組状況の報告、安全・適正就業強化月間パトロールの中

間報告、インボイス制度のその後、最低賃金とインボイス制度への対応インボイス制度意見交換会の結果、職員の給与支給規程の一部改正、シルバーポイント制度、フレンドリーショップ制度、三重県シルバーの日、令和４年度「安全講習会」、令和４年度「役職員人権研修」、就業拡大、役職員先進地視察等

12/9・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報
（第４回）告、各部会取組状況の報告、上半期監査、労働局・三重県・三シ連の事業指導、安全講習会の結果、安全適正就業パトロールの結果、フレンドリーショップの現状、職員の給与支給規程の一部改正、嘱託職員等の取扱い要綱の一部改正、剪定講習会、福祉・家事援助サービス月間

2/28・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要ヒヤリハット報告
（第５回）各部会取組状況の報告、剪定講習会の結果、臨時事務局長会議の内容フレンドリーショップ制度の現状、インボイス制度導入に伴う科目標準等、令和５年度定時総会

3/24・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報
（第６回）告、各部会取組状況の報告、令和４年度事業報告、令和５年度事業計画及び令和４年度補正予算、職員就業規則の一部改正、再任用嘱託職員制度について、インボイス制度対応積立金等

１３．役職員の視察研修

コロナ禍の中、先進地視察研修は、中止としました。

１４．財務対策強化への対応

①伊賀市議会への「シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援を求める請願書」の提出

②事務費率の引上げ

③インボイス制度（適格請求書等保存方式）対応積立金の創設